

藤原地区公民館通信

令和7年度
第3号

飛んだぞ!!僕の自作ロケット

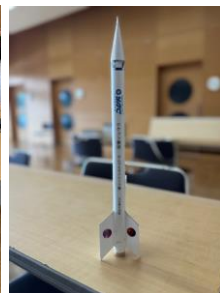
8月17日(日)、藤原地区子どもチャレンジ教室「自作ロケットを飛ばそう!」教室が開催されました。

この楽しいイベントには、藤原小学校の児童14名と日本宇宙少年団大分テクノ分団からの参加者5名、合わせて19名が参加!保護者や大分大学理工学部の岩本教授と学生たちの協力も得て、熱気あふれるひととき。

講師の日本宇宙少年団大分テクノ分団分団長、森岡勝彦氏からロケット製作のインストラクションを受けた後、参加者たちは2時間で自分だけのロケットを作り上げました。子どもたちの真剣な眼差しが印象的でした。

打ち上げでは、全員のロケットが空高く飛び、無事に回収もできて一安心!みんなの笑顔が広がる瞬間でした。これからも挑戦を楽しんで、素晴らしい思い出をたくさん作って欲しいですね。

藤原地区公民館では、これからも楽しい活動を計画していきます。たくさんさんの参加を待っていますね。

8, 9月の地区公民館話合いから
第2回ふるさとまつり実行委員会から

8月21日(木)に実施され、フードコートの出店者や芸能発表会の申し込み状況の確認や内容について、前回出された意見等について協議しました。

『はたらく車』の展示については、展示場所の確保ができ、事業所等の協力等も得られることになりました。また、本年度からふるさとまつりにご協力いただける『藤原を愛する会』が積極的に関わっていくことになりました。

雨天時のフードコートの出店については、以前とは違う出店形式になっている

・雨天時は客の減少が予想される
・雨天時のテント設置のスペースが狭い
・テント設置のスペースが狭い

等の理由から、昨年度、一昨年度と同じく、雨天時はフードコートを中止することになりました。

体育祭打合せ会から

9月9日(火)、本年度は保健福祉センターで体育部長、各係一斉に打合せ会を行いました。

体育祭の実施要項の確認、前日・当日の取り組み、申し合わせ事項の確認などを行い、諸係の責任者と副責任者を決め、役割分担や動きの確認などを行いました。各係ともベテランの役員を中心にスムーズに話合いができたようでした。

体育祭は地区の体育的行事の中で最大のイベントです。選手集めや係のお願いなど、各自自治会の体育部長さんが中心的な動きをされています。地区の皆様のご協力をよろしくお願いします。



私達もふるさとまつりを盛り上げます

昨年度から、ふるさとまつりの子ども会イベントに向けて、子ども会に所属している子供たちで『子ども会議』を開催しています。子供たちが主体的にふるさとまつりに関わっていくことで、自分達も地域住民の一人で、自分たちの住む藤原を大切に思う気持ちが育っていくでしょう。本年度子供たちは、これまでの話合いの中で、『ドッジボール大会』をすることを決め、申し込み方法・ルール・試合方法・賞品・係などについて話し合ってきました。子供たちが自分たちで考え、決定し、行動していくところ

があると意欲がわくと思います。温かい目で見守っていただければ幸いです。これから参加者を募ります。奮ってご参加を!



あとがき 一こども連絡所

今年の夏は例年以上に猛暑が続く、9月に入っても30度を超える日が多くありました。子供たちにとっては、学校での活動だけでなく、下校時の暑さも大変ではないかと思えます。公民館は地域の方々のためにあります。子供たちも例外ではありません。また、藤原地区公民館は、こども連絡所となっています。トイレや暑さに困ったときなど、いつでも気軽に声をかけてください。

藤原地区公民館: 72-2462